



2026年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年5月14日

上場会社名 群栄化学工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4229 URL <https://www.gunei-chemical.co.jp>
 代表者(役職名)代表取締役 社長執行役員 (氏名)有田 喜一郎
 問合せ先責任者(役職名)取締役 執行役員コーポレート本部長 (氏名)丸山 克浩 (TEL) 027-353-1810
 定時株主総会開催予定日 2026年6月26日 配当支払開始予定日 2026年6月29日
 有価証券報告書提出予定日 2026年6月19日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期の連結業績(2025年4月1日～2026年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期	31,307	2.5	2,567	12.0	2,959	9.0	1,973	2.8
2025年3月期	30,545	0.8	2,293	△16.0	2,716	△14.1	1,920	△5.9

(注) 包括利益 2026年3月期 5,876百万円(163.5%) 2025年3月期 2,230百万円(△54.1%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2026年3月期	297.49	—	3.8	4.5	8.2
2025年3月期	289.60	—	3.9	4.4	7.5

(参考) 持分法投資損益 2026年3月期 ー百万円 2025年3月期 ー百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期	68,012	56,853	80.3	8,234.98
2025年3月期	63,018	51,731	78.9	7,499.57

(参考) 自己資本 2026年3月期 54,646百万円 2025年3月期 49,745百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2026年3月期	4,582	△2,760	△825	10,681
2025年3月期	4,330	△2,806	△875	9,536

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2025年3月期	—	50.00	—	50.00	100.00	663	34.5	1.3
2026年3月期	—	50.00	—	50.00	100.00	663	33.6	1.3
2027年3月期(予想)	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 2027年3月期の配当予想につきましては、現時点では未定とさせていただきます。

3. 2027年3月期の連結業績予想(2026年4月1日～2027年3月31日)

2027年3月期の連結業績予想につきましては、現時点で中東情勢が原材料の価格及び調達等に与える影響を合理的に算定することが困難であることから未定とさせていただきます。なお、連結業績予想の公表が可能となった段階で改めて公表させていただきます。

※ 注記事項

- (1) 期中における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期	8,998,308株	2025年3月期	8,998,308株
② 期末自己株式数	2026年3月期	2,362,359株	2025年3月期	2,365,148株
③ 期中平均株式数	2026年3月期	6,635,295株	2025年3月期	6,632,209株

(参考) 個別業績の概要

1. 2026年3月期の個別業績（2025年4月1日～2026年3月31日）

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期	25,691	2.0	1,877	△2.7	2,434	0.1	1,780	△3.0
2025年3月期	25,181	△0.8	1,929	△15.9	2,433	△14.2	1,835	△1.2

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期	268.33	—
2025年3月期	276.71	—

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期	61,329	51,873	84.6	7,817.03
2025年3月期	56,961	47,373	83.2	7,141.91

(参考) 自己資本 2026年3月期 51,873百万円 2025年3月期 47,373百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「経営成績等の概況」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	2
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 連結貸借対照表	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	6
連結損益計算書	6
連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(セグメント情報等)	11
(1株当たり情報)	12
(重要な後発事象)	12

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における世界経済は、米国の通商政策に加え、物価上昇の継続等の影響による景気後退リスク、中東情勢を始めとする地政学リスクなどが依然として続いており、不透明な状況となっております。

また、わが国経済におきましては、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果により、景気は緩やかな回復が継続しておりますが、不安定な海外情勢や為替動向等を背景とした物価上昇への懸念から、依然として先行きが不透明な状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループの売上高は、前年比2.5%増加の31,307百万円となりました。利益面では、グループ全体で採算是正及び業務効率の改善等に取り組むとともに、在外子会社では更にコストダウンを行ったことにより、営業利益は前年比12.0%増加の2,567百万円、経常利益は為替差損を計上したものの前年比9.0%増加の2,959百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は前年比2.8%増加の1,973百万円となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

[化学品事業]

環境関連向け高機能繊維は溶剤回収用途等が中国における在庫調整の継続により低調に推移しましたが、自動車関連向け樹脂は前年並みに推移し、電子材料関連向け樹脂は半導体用途が、生成AI用途等のメモリ需要好調を背景に堅調に推移しました。以上の結果、売上高は前年比4.1%増加の26,496百万円、利益面では、子会社の利益貢献もあり、セグメント利益（営業利益）は前年比13.3%増加の2,376百万円となりました。

[食品事業]

市場全体では、インバウンド需要を背景に外食産業は堅調に推移しましたが、当社は商品構成の見直しにより販売数量が減少し、売上高は前年比5.7%減少の4,564百万円となりました。利益面では、採算是正に取り組んだ結果、セグメント利益（営業利益）は前年比4.1%増加の35百万円となりました。

[不動産活用業]

不動産活用業においては、ほぼ前年並みで推移した結果、売上高は前年比0.8%増加の247百万円、セグメント利益（営業利益）は前年比3.2%減少の155百万円となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度における資産合計は、前連結会計年度末と比べ4,993百万円増加し、68,012百万円となりました。これは、主に設備投資により有形固定資産が増加したこと及び保有株式の時価評価により投資その他の資産が増加したことによるものです。

負債合計は、前連結会計年度末と比べ127百万円減少し、11,159百万円となりました。これは、設備投資に伴う設備関係未払金を支払ったことによるものです。

純資産合計は、前連結会計年度末と比べ5,121百万円増加し、56,853百万円となりました。これは、親会社株主に帰属する当期純利益を計上し利益剰余金が増加したこと及び保有株式の時価評価によりその他有価証券評価差額金が増加したことによるものです。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物は、前連結会計年度に比べ1,144百万円増加し10,681百万円となりました。なお、当連結会計年度におけるキャッシュ・フローの状況及びその主な内訳は以下のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フローは、4,582百万円の収入となり、前連結会計年度に比べ251百万円収入が増加しました（前連結会計年度4,330百万円の収入）。これは主に、棚卸資産の増減額が減少したことによるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローは、2,760百万円の支出となり、前連結会計年度に比べ45百万円の支出が減少しました（前連結会計年度2,806百万円の支出）。これは主に、有形固定資産の取得による支出が増加したものの、投資有価証券の取得による支出等が減少したことによるものです。

財務活動によるキャッシュ・フローは、825百万円の支出となり、前連結会計年度に比べ49百万円支出が減少しました（前連結会計年度875百万円の支出）。これは主に、配当金の支払額が減少したことによるものです。

(4) 今後の見通し

①今後の見通し

当社グループは、2025年度より始動した「GCIグループ中期経営方針2030」のもと「高純度・先端材料」、「環境対応ケミカル」、「新事業創出(高機能糖ケミカル)」、「経営基盤強化」を目指す方向性として掲げ、注力分野への積極投資および社会課題解決に貢献する高付加価値製品開発を強化し、ありたい姿である“Green Chemical Industry”への進化を加速させてまいります。

次期(2027年3月期)の連結業績予想につきましては、現時点で中東情勢が原材料の価格及び調達等に与える影響を合理的に算定することが困難であることから、未定とさせていただきます。連結業績予想の公表が可能となった段階で改めて公表させていただきます。

②利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社グループは、株主の皆様に対する利益還元を経営の最重要施策のひとつとして位置付けております。資本コストを意識し、財務体質の強化と事業の継続的な成長を図り、業績に裏付けされた成果の配分を株主の皆様に行うことを基本方針とし、1株当たりの配当の向上に努め、配当性向40%を目安に安定的な配当を目指してまいります。

内部留保資金につきましては、将来における株主の皆様の利益拡大のために新規事業及び成長する事業分野に投入してまいります。

当期の配当につきましては、1株当たり50円の間配当を実施し、期末配当につきましては1株当たり50円とすることを予定しております。

また、次期の配当につきましては、連結業績予想を算定することが困難であるため、現時点では未定とさせていただきます。連結業績予想の公表が可能となった段階で、配当予想についても公表させていただきます。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。なお、IFRSの適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,251	10,196
受取手形及び売掛金	7,091	6,841
電子記録債権	1,174	1,214
有価証券	1,698	1,492
商品及び製品	2,500	2,331
仕掛品	876	1,047
原材料及び貯蔵品	2,379	1,978
その他	314	261
貸倒引当金	△1	△4
流動資産合計	25,285	25,359
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	24,386	25,008
減価償却累計額及び減損損失累計額	△18,124	△18,581
建物及び構築物（純額）	6,262	6,427
機械装置及び運搬具	36,810	38,743
減価償却累計額及び減損損失累計額	△33,301	△34,289
機械装置及び運搬具（純額）	3,508	4,454
土地	7,961	7,989
リース資産	924	895
減価償却累計額及び減損損失累計額	△215	△272
リース資産（純額）	708	623
建設仮勘定	3,595	4,105
その他	3,494	3,663
減価償却累計額及び減損損失累計額	△3,036	△3,142
その他（純額）	457	520
有形固定資産合計	22,494	24,120
無形固定資産		
その他	153	204
無形固定資産合計	153	204
投資その他の資産		
投資有価証券	13,211	16,035
退職給付に係る資産	488	639
繰延税金資産	49	63
その他	1,413	1,665
貸倒引当金	△78	△75
投資その他の資産合計	15,084	18,327
固定資産合計	37,732	42,653
資産合計	63,018	68,012

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	4,385	4,077
未払金	3,146	1,597
未払法人税等	370	400
賞与引当金	386	400
その他	148	181
流動負債合計	8,438	6,657
固定負債		
リース債務	735	665
繰延税金負債	1,527	3,142
環境対策引当金	5	5
固定資産撤去引当金	22	22
退職給付に係る負債	125	147
その他	432	518
固定負債合計	2,848	4,502
負債合計	11,287	11,159
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,000	5,000
資本剰余金	25,650	25,650
利益剰余金	20,637	21,948
自己株式	△6,215	△6,208
株主資本合計	45,072	46,389
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,609	6,985
為替換算調整勘定	868	1,028
退職給付に係る調整累計額	195	243
その他の包括利益累計額合計	4,673	8,257
非支配株主持分	1,985	2,206
純資産合計	51,731	56,853
負債純資産合計	63,018	68,012

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
売上高	30,545	31,307
売上原価	24,019	24,243
売上総利益	6,525	7,064
販売費及び一般管理費	4,232	4,496
営業利益	2,293	2,567
営業外収益		
受取利息	108	108
受取配当金	245	295
その他	93	103
営業外収益合計	447	506
営業外費用		
支払利息	14	14
為替差損	-	80
損害賠償金	-	13
その他	9	4
営業外費用合計	24	113
経常利益	2,716	2,959
特別利益		
固定資産売却益	20	-
投資有価証券売却益	10	-
保険差益	-	15
その他	0	-
特別利益合計	30	15
特別損失		
固定資産処分損	34	59
特別損失合計	34	59
税金等調整前当期純利益	2,711	2,916
法人税、住民税及び事業税	601	695
法人税等調整額	54	42
法人税等合計	656	737
当期純利益	2,055	2,179
非支配株主に帰属する当期純利益	134	205
親会社株主に帰属する当期純利益	1,920	1,973

連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
当期純利益	2,055	2,179
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△369	3,376
為替換算調整勘定	509	274
退職給付に係る調整額	35	45
その他の包括利益合計	175	3,696
包括利益	2,230	5,876
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	1,898	5,557
非支配株主に係る包括利益	331	318

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	5,000	25,647	19,413	△6,225	43,835
当期変動額					
剰余金の配当			△696		△696
親会社株主に帰属する 当期純利益			1,920		1,920
自己株式の取得				△2	△2
自己株式の処分		2		11	14
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	-	2	1,224	9	1,237
当期末残高	5,000	25,650	20,637	△6,215	45,072

	その他の包括利益累計額			非支配株主持分
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	
当期首残高	3,979	555	160	1,750
当期変動額				
剰余金の配当				
親会社株主に帰属する 当期純利益				
自己株式の取得				
自己株式の処分				
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	△370	313	35	235
当期変動額合計	△370	313	35	235
当期末残高	3,609	868	195	1,985

当連結会計年度(自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	5,000	25,650	20,637	△6,215	45,072
当期変動額					
剰余金の配当			△663		△663
親会社株主に帰属する 当期純利益			1,973		1,973
自己株式の取得				△2	△2
自己株式の処分		0		9	10
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	-	0	1,310	6	1,317
当期末残高	5,000	25,650	21,948	△6,208	46,389

	その他の包括利益累計額			非支配株主持分
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	
当期首残高	3,609	868	195	1,985
当期変動額				
剰余金の配当				
親会社株主に帰属する 当期純利益				
自己株式の取得				
自己株式の処分				
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	3,375	160	47	220
当期変動額合計	3,375	160	47	220
当期末残高	6,985	1,028	243	2,206

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	2,711	2,916
減価償却費	1,692	1,831
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	13	13
受取利息及び受取配当金	△353	△403
支払利息	14	14
売上債権の増減額 (△は増加)	554	277
棚卸資産の増減額 (△は増加)	177	423
仕入債務の増減額 (△は減少)	27	△322
その他	△193	126
小計	4,643	4,877
利息及び配当金の受取額	325	394
利息の支払額	△14	△14
法人税等の支払額	△623	△674
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,330	4,582
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額 (△は増加)	107	500
有価証券の取得による支出	△700	-
有価証券の売却及び償還による収入	717	1,400
有形固定資産の取得による支出	△2,951	△5,173
投資有価証券の取得による支出	△1,806	△698
投資有価証券の売却及び償還による収入	1,844	1,300
その他	△17	△89
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,806	△2,760
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の純増減額 (△は増加)	△2	△2
配当金の支払額	△694	△661
非支配株主への配当金の支払額	△96	△98
リース債務の返済による支出	△83	△63
財務活動によるキャッシュ・フロー	△875	△825
現金及び現金同等物に係る換算差額	274	148
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	923	1,144
現金及び現金同等物の期首残高	8,613	9,536
現金及び現金同等物の期末残高	9,536	10,681

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

1 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、製品・サービス別の製造販売体制を置き、取り扱う製品・サービスについて国内及び海外の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

従って、当社グループは、製造販売体制を基礎とした製品・サービス別のセグメントから構成されており、「化学品事業」、「食品事業」及び「不動産活用業」の3つのセグメントを報告セグメントとしております。

「化学品事業」は、工業用フェノール樹脂及び高機能繊維等を製造販売しております。「食品事業」は異性化糖及び穀物シロップ等を製造販売しております。「不動産活用業」は当社の保有する土地や建物等不動産の賃貸を行っております。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理方法は、連結財務諸表作成において採用している会計処理の方法と概ね同一であります。報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額	合計
	化学品事業	食品事業	不動産活用業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	25,459	4,840	245	30,545	—	30,545
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	25,459	4,840	245	30,545	—	30,545
セグメント利益	2,098	34	160	2,293	—	2,293
セグメント資産	36,858	3,280	1,879	42,018	21,000	63,018
その他の項目						
減価償却費	1,619	36	36	1,692	—	1,692
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	3,485	116	3	3,605	—	3,605

(注) 1 セグメント資産の調整額21,000百万円は、当社での余資運用資金(現金及び有価証券)、長期投資資金(投資有価証券)及び管理部門に係る資産等であります。

2 セグメント利益の合計額は、連結損益計算書の営業利益と一致しております。

当連結会計年度(自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額	合計
	化学品事業	食品事業	不動産活用業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	26,496	4,564	247	31,307	—	31,307
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	26,496	4,564	247	31,307	—	31,307
セグメント利益	2,376	35	155	2,567	—	2,567
セグメント資産	45,973	3,252	1,893	51,119	16,892	68,012
その他の項目						
減価償却費	1,750	44	36	1,831	—	1,831
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	3,431	110	54	3,596	—	3,596

(注) 1 セグメント資産の調整額16,892百万円は、当社での余資運用資金(現金及び有価証券)、長期投資資金(投資有価証券)及び管理部門に係る資産等であります。

2 セグメント利益の合計額は、連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
1株当たり純資産額	7,499.57 円	8,234.98 円
1株当たり当期純利益金額	289.60 円	297.49 円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式がないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	1,920	1,973
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円)	1,920	1,973
普通株式の期中平均株式数(株)	6,632,209	6,635,295

(重要な後発事象)

該当事項はありません。